

ちょこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

POINT 先進国国債利回り

※データ期間は2019年1月22日から2019年2月22日（日次）

【2019年2月18日～2019年2月22日】

国債買い戻しの動き広がる

- ◆複数のFRB（米連邦準備制度理事会）高官が追加利上げに対して慎重な発言をしたことや、低調な米国経済指標の発表を受けて米国債を買い戻す動きが進み、米国債利回りは低下しました。
- ◆日銀の国債買い入れオペで需給の引き締めまりが示されたことを受けて、日本10年国債利回りは一時年初来最低の-0.05%まで下落する場面も見られました。

(%) 米国10年国債利回り



(%) 日本10年国債利回り



(%) フランス10年国債利回り



出所：Bloomberg 1/2

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん

大和住銀投信投資顧問

Daikin SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長金商第 353 号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

ちょこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

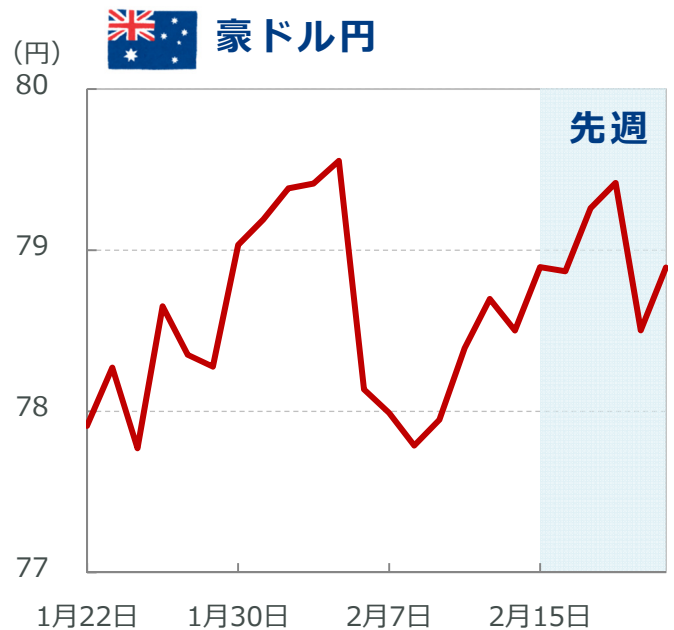
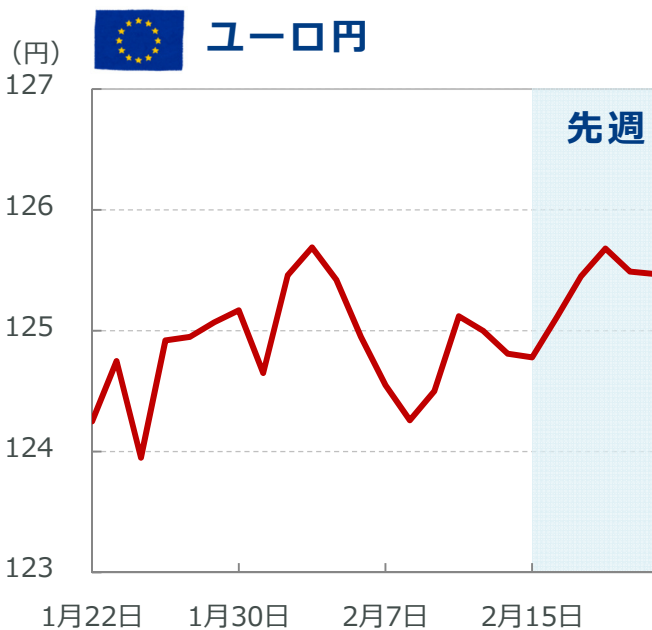
POINT  **為替**

※データ期間は2019年1月22日から2019年2月22日（日次）

【2019年2月18日～2019年2月22日】

円は対米ドル、対ユーロで下落

- ◆米中通商協議進展の兆しを好感した欧米株の反発を手掛かりに、相対的に安全な資産とされる円を売って米ドル、ユーロを買う動きが広がりました。
- ◆豪ドル円は週半ばまで軟調だったものの、22日に豪州準備銀行のロウ総裁が「景気がシナリオ通りであれば、次の一手は利上げ」の可能性を示したことから反転、円は対豪ドルで週間で横ばいとなりました。



出所：Bloomberg **2/2**

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



資産運用のベストパートナー、だいわすみざん

大和住銀投信投資顧問

Daikin SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長金商第 353 号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会